

万一の際の計画停電実施時の 考え方について

平成30年7月10日
四国電力株式会社

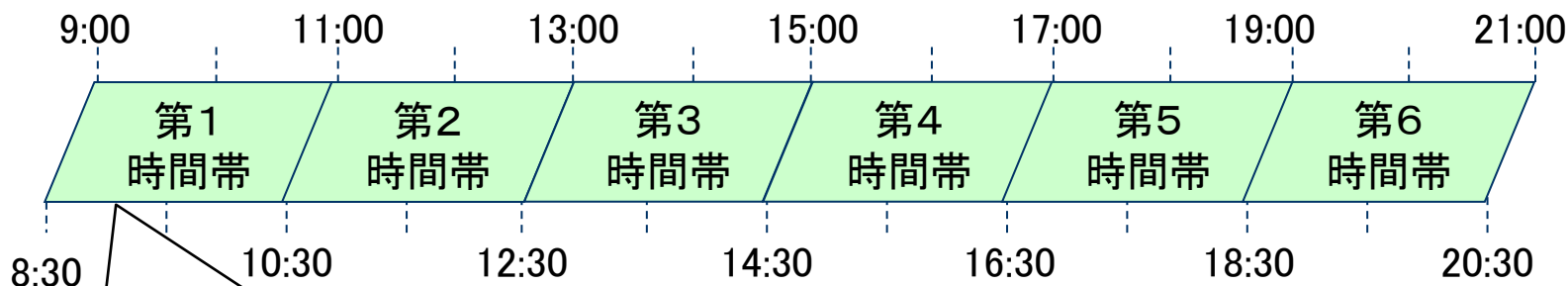
1. はじめに

- 平成29年10月24日に開催された国の電力・ガス基本政策小委員会において、万一の事態に備えた計画停電の検討が必要であるとの方針が示されました。
- これを受け、電力広域的運営推進機関と一般送配電事業者10社で、計画停電の考え方について確認・検討を進めてまいりました。
- 当社は、平成24年6月22日に計画停電の具体的スキームを取りまとめるうえ公表しており、その考え方は基本的に変更ございませんが、この度の検討結果を改めてお知らせいたします。
- 計画停電は、国民生活や社会の経済活動に多大な影響を与えるため、不実施が原則です。
しかしながら、激甚災害が発生した場合は、大規模な発電設備の損壊などにより、需要と供給のバランスが保てない状況も考えられます。その場合、エリア内の火力発電所の焚き増しや、広域機関による他エリアからの融通指示などにより電力需給バランスの回復に努めるとともに、それでも厳しい需給状況の場合には国による節電要請を行い、計画停電の回避に努めます。それでもなお、需給バランスが回復できない場合は、国・広域機関・ひっ迫エリアの一般送配電事業者の共通判断として、計画停電を実施いたします。

2. 計画停電実施時の時間帯

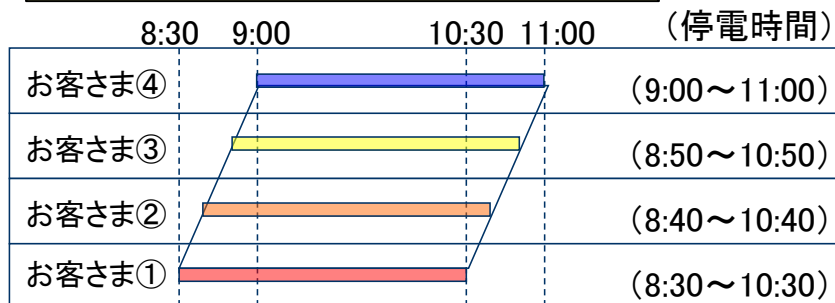
- 万が一の場合、時間帯毎に計画停電を実施させていただきます。
- 1日1回を原則とし、1回当たりの停電時間は2時間程度といたします。
- 具体的な計画停電の期間・時間帯は、実際に計画停電が必要になった場合にお知らせします。

【計画停電時間帯のイメージ(8時30分～21時に計画停電を実施する場合)】



【お客さま毎の停電イメージ: 第1時間帯】

お客さま毎の停電時間は2時間程度となります



3. グループ・サブグループの考え方

- 当社供給エリアを7つのグループに分け、時間帯毎に計画停電を実施させていただきます。
- 各停電エリア(グループ)の停電時間帯は、各グループ間で公平となるよう、毎日変更いたします。
- 停電必要量に応じたきめ細やかな調整が可能となるよう、各グループを4つのサブグループに細分化いたします。

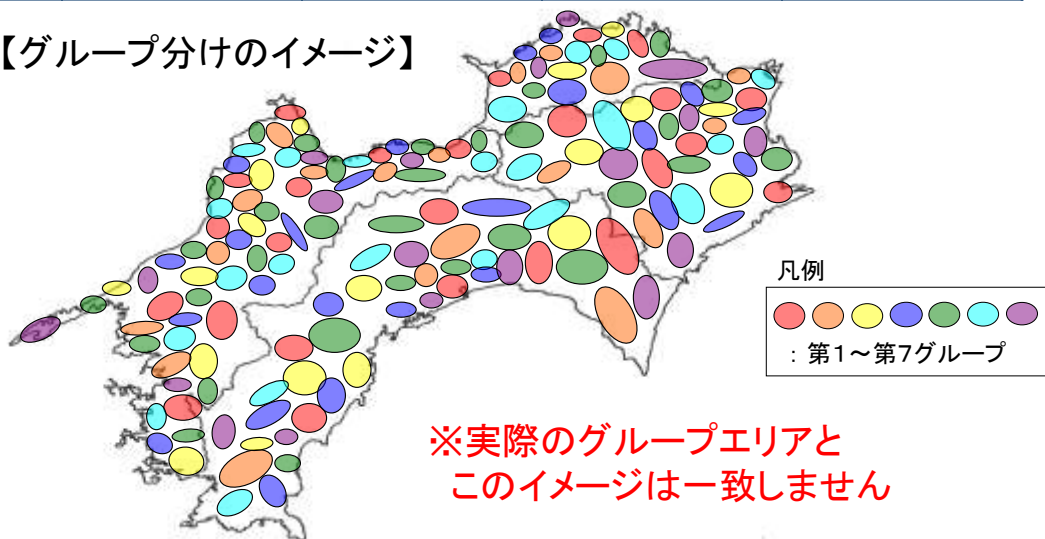
【グループのローテーションのイメージ(8時30分～21時に計画停電を実施する場合)】

	第1時間帯 8:30～11:00	第2時間帯 10:30～13:00	第3時間帯 12:30～15:00	第4時間帯 14:30～17:00	第5時間帯 16:30～19:00	第6時間帯 18:30～21:00
月曜日	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ	第6グループ
火曜日	第7グループ	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ
水曜日	第6グループ	第7グループ	第1グループ	第2グループ	第3グループ	第4グループ
木曜日	第5グループ	第6グループ	第7グループ	第1グループ	第2グループ	第3グループ
金曜日	第4グループ	第5グループ	第6グループ	第7グループ	第1グループ	第2グループ

【グループ分けのイメージ】

各グループを4つのサブグループに細分化

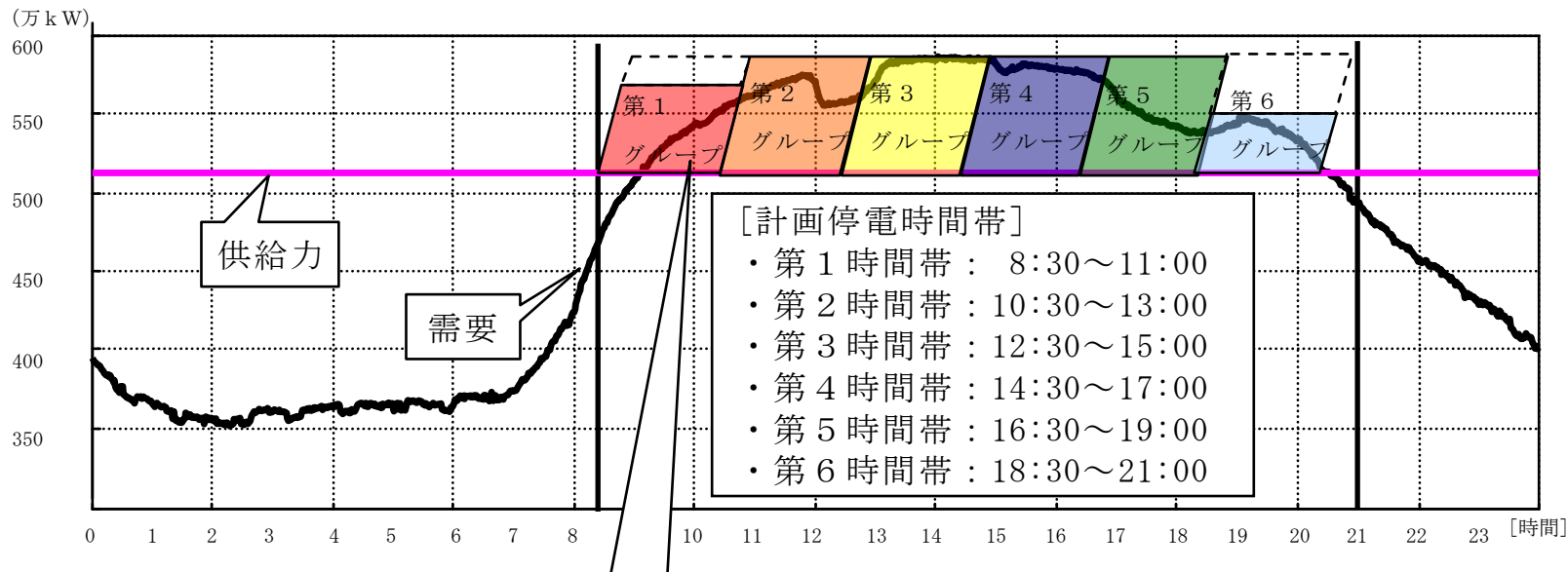
1-A
1-B
1-C
1-D



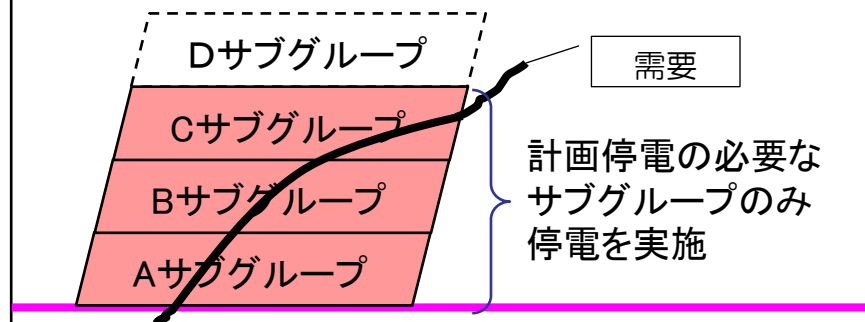
4. 計画停電実施時のグループ・サブグループの単位

- 時間帯毎の需給ギャップの大きさに応じて、計画停電をお願いするサブグループを設定します。
- 当日の需給バランスが大きく変更した場合には、サブグループを変更(追加・減少)する場合があります。

【計画停電の時間的推移のイメージ(8時30分～21時の間に計画停電を実施する場合)】



【第1グループの拡大図】



5. ローテーションの考え方

○ 各サブグループ間でも公平性が保たれるよう、計画停電の実施状況に応じて、グループ内でのローテーションを行います。

【サブグループのローテーションの例(第1グループ)】

1-Aから順に計画停電の対象となります。
 例えば、1日目8:30~11:00の時間帯で、2サブグループ分の停電が必要になったとすると、1-Aおよび1-Bのお客さまが計画停電の対象となります。

	第1時間帯 8:30~11:00	第2時間帯 10:30~13:00	第3時間帯 12:30~15:00	第4時間帯 14:30~17:00	第5時間帯 16:30~19:00	第6時間帯 18:30~21:00
1日目	1-A 1-B 1-C 1-D	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ	第6グループ
2日目	第7グループ	1-C 1-D 1-A 1-B	第2グループ	第3グループ	第4グループ	第5グループ
3日目	第6グループ	第7グループ	1-B 1-C 1-D 1-A	第2グループ	第3グループ	第4グループ

計画停電の対象とならなかったサブグループは、次回に計画停電をお願いする順位が高くなります。

6. 除外対象施設の考え方

- 計画停電は、電力供給にあたり送配電網を共用しているため、どの小売電気事業者と契約しているかに関わらず、原則、当社エリア内のすべてのお客さまにお願い致します。
- ただし、国の方針※に基づき、医療機関等の緊急かつ直接的に人命に関わる施設や、国の安全保障上極めて重要な施設、国や経済社会の基幹的機能を有する施設等については、計画停電の対象外(除外対象施設)とします。

※ 『セーフティーネットとしての計画停電について』

平成24年6月22日 電力需給に関する検討会合エネルギー・環境会議より

7. 計画停電時の注意事項例

○停電前にご準備いただきたいこと

- ・ご自宅で医療を受けられるお客さまで、停電中の健康状態がご心配な方は、事前に医療機関などにご相談いただきますよう、お願いいたします。
- ・ラジオ、携帯電話などの通信機器の準備と充電の確認をお願いいたします。
- ・冷凍庫(冷蔵庫)の温度を維持するため、ドアの開閉を控えたり保冷剤などをご準備ください。
- ・水槽の魚などをイケースに分散していただくか、電池式エアポンプをご用意ください。
- ・パソコンなどのOA機器はデータを保存し、電源を切ってください。

○停電中にご注意いただきたいこと

- ・体調管理には十分ご注意ください。
- ・交差点を通行される際は十分ご注意ください。
- ・アイロンなど電熱器具はコンセントからプラグを抜いてください。
- ・ろうそくを使用される際には、火災に十分ご注意ください。
- ・室内で七輪や小型発電機などを使用しないでください。
- ・ガス漏れ警報器や換気扇などは作動しない場合があります。窓を開けるなど十分換気してください。
- ・モーターを使った電気製品はコンセントからプラグを抜いてください。
- ・停電予定の時間帯はエレベーターを利用しないでください。
- ・自動ドア、オートロックは作動しませんので、ご注意ください。
- ・防犯システムは作動しない場合がありますので、ご注意ください。
- ・夜間の外出の際は十分ご注意ください。
- ・分電盤のブレーカーを切ってから外出していただくより安全です。
- ・電気だけでなく、電話機、ガス、水道が使えなくなる可能性があります。飲料水の準備や汲み置きをお願いします。

○停電解消後にご注意いただきたいこと

- ・テレビやビデオなど、時刻表示やタイマー機能のある電気製品は、設定をご確認ください。
- ・電気給湯器はリモコンの現在時刻とエラー表示をご確認ください。

8. 計画停電グループ検索システム

- 計画停電のグループ・サブグループは、計画停電を実施する場合に公表いたします。
 - お客さまが所属するグループ・サブグループは、計画停電を実施する場合において当社HP上へ掲載する「グループ検索システム」でのご確認をお願いいたします。
 - － 「グループ検索システム」でのご確認にあたっては、供給地点特定番号(22桁)※をご準備下さい。
 - － 発災等による設備損壊状況によっては、検索可能になるまで時間がかかることや正確な情報が通知できない可能性があります。
- ※供給地点特定番号が不明な場合は、ご契約の小売電気事業者にお問い合わせください。

四国電力ホームページ(計画停電グループ検索システムのイメージ)

(検索ページイメージ)

◇計画停電のグループ検索

●供給地点特定番号から検索

08 - - - - - 0000 (22桁)

(検索結果ページイメージ)

◇供給地点特定番号から検索

供給地点特定番号 : 08 - XXXX - XXXX - XXXX XXXX - 0000 (22桁)

第2グループD です。

9. 本件に関するお問い合わせ先

よんでんネットワークコールセンター : 0120-410-805(フリーダイヤル)

【電話受付時間】

月曜日～金曜日 8:40～17:20

※祝日、年末年始(12/29～1/3)は除く。